

株式会社 松屋 2018年5月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	9.4	1.2
② 銀座店	10.4	1.7
③ 浅草店	-2.4	0.4

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
銀座本店	-0.6	6.5	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4
松屋銀座	-0.9	7.1	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4
松屋浅草	2.5	-1.3	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、曜日廻りが休日1日減(影響度合いは約0.9%減)という営業条件の中、初旬のゴールデンウィークを皮切りに国内外のお客様の来店・買上げにより、売上高は前年を大幅に上回る好スタートとなりました。婦人部門は、衣料品はブラウスを中心に、また、雑貨は帽子・サングラス・サンダル等が売上を伸ばす等、夏物商材が好調に推移いたしました。免税売上高につきましても、引き続き化粧品・時計が堅調に売上を伸ばし、売上の全体を牽引いたしました。
浅草店	浅草店は、化粧品は前年を上回ったものの、主力の食品が苦戦し、店全体の売上高は前年実績に及びませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-7.4	-7.4
婦人服・洋品	2.8	3.3
子供服・洋品	-5.6	-5.6
呉服寝具他	-19.2	-19.8
衣料品計	-1.5	-1.2
身廻り品	11.6	11.6
雑貨	42.5	42.0
家具	41.3	42.6
家電	-27.2	-27.0
家庭用品	-8.2	-8.4
家庭用品計	16.8	17.2
食料品	-3.9	-3.5
食堂・喫茶	-3.0	-3.0
サービス、その他	26.6	30.5
合計	9.4	10.4

商品別概況(銀座店)

*婦人服・洋品は、3月以降の季節の前倒しの影響で春物・初夏物等商材が好調に推移するも、当月においてはキャリア層の買上げがやや弱かった一方、高級婦人服ゾーンの好調が牽引し、婦人服全体の売上は前年を上回りました。また、帽子やサンダル等の雑貨は前年に対して、二桁の伸びを示しました。

*雑貨においては、化粧品が前年に対して約4割程度伸びる等、引き続き国内外のお客様の買上げにより売上を伸ばすことが、出来ました。

(特記事項)

*「6月上速報」は、7/2(月)15時の開示を予定しております。